



進路・夢実現に向けて、この1問をクリアしよう!!

霧島市「今週の1問」

4 月 25 日版

学年

教科

2年

理科

名前

めあて 岩石の特徴や地層からわかることを理解しよう。

たかしさんは、いくつかの地点のボーリング試料を使うと、地下の地層の広がりを知ることができることを学び、ある地域の3つの地点A、B、Cにおけるボーリング調査から得られた図1の柱状図を用いて、この地域に広がっている地層について調べた。地点Aは地点Bの真西に、地点Cは地点Bの真北にある。図2は、地点A、B、Cと、地点Aの真北であり地点Cの真西である地点Dの位置をかきこんだ地図で、地図中の曲線は等高線を表している。ただし、この地域の地層は、ある方角に傾いて平行に積み重なっており、曲がったりずれたりしておらず、地層の上下の関係の逆転もない。

図1

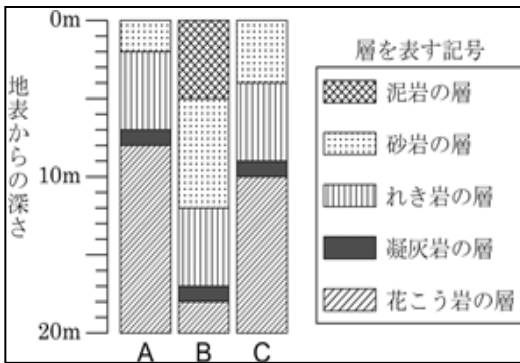


図2

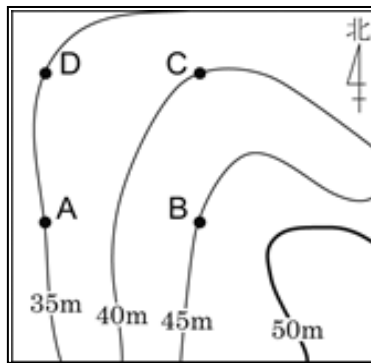
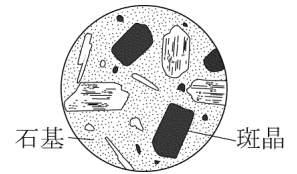


図3



1 図3は、地点Aのれき岩の層に含まれていた岩石の表面をよくみがいてルーペで観察し、スケッチしたものである。このようなつくりをもつ岩石は、ア～エのどれか。

ア 石灰岩 イ 安山岩 ウ はんれい岩 エ せん緑岩

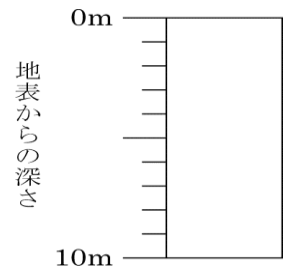
2 地点Bの砂岩の層からサンゴの化石が見つかった。サンゴの化石のように、地層が堆積した当時の環境を推定するのに役立つ化石を何というか。

3 たかしさんは、地点A、B、Cの柱状図から、地点Dの地層について考えた。

(1) この地域の地層は、どの方角に低くなっていると考えられるか。最も適当なものはどれか。

ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北

(2) 地点Dにおける地表から深さ 10mまでの地層の重なりはどのようになっていると考えられるか。図1で示した層を表す記号を用いて、地点Dの地表から深さ 10mまでの地層の柱状図をかけ。



振り返り

※分かったこと、できるようになったこと